



ロータリーは
分かちあいの心

国際ロータリー第2630地区

高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2007～2008年度 高山中央RC会長テーマ

第725回「**りく りょく きょう しん** 戮 力 協 心」 H19・8・27

〈点 鐘〉会長 松之木 映一さん

〈ソング〉我等の生業

〈出席報告〉

本日の出席…39名 出席率…92.86%

前々回の補正…41名 出席率…97.62%

〈ゲスト紹介〉

高山市社会福祉協議会

地域福祉課 課長 小峠 賢次様

〈ゼンター紹介〉

高山ロータリークラブ 早川 宏治様

〈幹事報告〉幹事 永家 何嗣さん

◎2006～2007年度 ガバナー事務所より

・地区資金収支報告書

◎ガバナー事務所より

・ロータリーレート変更のお知らせ

9月1日から1\$＝116 円

・WCS補助金申請・受付のご案内

◎ガバナーエレクト事務所より

・事務所開設のお知らせ

住所：〒502-0817 岐阜市長良福光2605-2

岐阜都ホテル428号室

TEL 058-210-2630

FAX 058-210-2631

※エレクト事務所は2008年7月1日より

ガバナー事務所になります。

〈高山ロータリークラブより〉

・例会変更のお知らせ

9月20日(木)→24日(月)IMのため

高山グリーンホテル

〈高山西ロータリークラブより〉

9月21日(金)→24日(月)IMのため

高山グリーンホテル

10月12日(金)→15日(月)

高山3RC合同ガバナー公式訪問例会

10月26日(金) 機場訪問 飛騨産業商

〈高山市青少年育成市民会議より〉

・少年野外活動事業に支援のお礼

〈会長の時間〉松之木 映一さん

持樁二人にちは

先週入会予定者の塚本さんに、私と、観田さん、久々野

さんと3人で高山中央R.C.入会の勧誘に行ってきた。

年は33才と若いですが仕事熱心な好青年で是非の入会をお願いしましたが、「他方面からの誘いと、名古屋でも仕事をしている事もあり、少し考えさせて下さい。」という事でもあり帰ってきました。

後は久々野さんに一任してあります。その時の話の中で観田さんが、「出会いという事は何かの縁があり誘ってもらえる時が花なんだ」と言われました。この言葉を聞いた時私がロータリークラブに誘ってもらった17年前の自分の事を思い出しました。

〈本当の出会い、本当の別れ〉作家の大崎 善生さんの書かれた文を紹介します。

今から何年か前に40歳を少し手前にした私は同じ年頃の男4人でイタリアを旅した事があった。あるレストランのパーティオでパスタを食べていた時、日本そばを食べるのようにズルズルとすまりながらパスタを食べる3人を見ながら自分だけは器用にフォークにパスタをくるくると巻つけてスプーンにのせて食べている事に気がついた。

それを発見した瞬間に、理由はよく判らないが雷のような衝撃が体の中を走り回った。

20歳の頃は出会いと別れは、例えば人と出会う事は水族館の入り口を開ける事であり、別れる事は出口から出るような短絡的で物理的なものだった。若かった頃は魅力的な水族館が目前にあったしこれからもいくつでも現れるものと思っていた。

30代はその単純な考えに疑問を持ちながらも深く考察せず仕事に邁進していたが40歳を目前に思った事は人が人に対して何らかの影響を与え始める時が出会いでありその影響をやめる時が別れではないか。

数十年前に3年間付き合った彼女がいた。自分は大学生だったがまったく学校に興味を持つことが出来ず、かといって他に興味があるわけではなく、何の目的もなくただただ日々を過ごしていた。そして彼女とは日が経つにつれ差がついてしまい、それは埋められないものとなってしまって、やがて訪れる必然の別れ。

パーティオでパスタを食べている時自分の食べ方が彼女に教わったそのままの方法である事に気がついた、昔別れたはずのそれから一度もあった事のない彼女が今もこうして現実的に自分の行動に影響を与えているのである。

影響を与え合う関係が出会いなのだと思えば、実は人は一生のうちそんなに多くの人と出会わないかもしれない。しかしその影響は思っているよりもはるかに長く、そして現実的に続いて行くものなのだ。人は一人だけで人生を完

創 立 1991年5月20日

- ◆例会日 / 毎週月曜日・PM12:30-
- ◆例会場 / ひだホテルプラザ3F・☎(0577)33-4600
- ◆事務局 / 高山市花園町1-15 丸越商事4F
/ ☎(0577)36-0730 / FAX (0577)36-1488
/ ☎0577193 http://www17.ocn.ne.jp/~t-c-rc/
- ◆会 長 / 松之木 映一 ◆幹 事 / 永家 何嗣

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1 真実か どうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるか どうか

述することは出来ない、誰かと影響を与え合っ
て初めての何かの形や色が浮かび上が
ってくると思う。このことから出
会いの大切さをあらためて感じさせ
られました。

〔本日のプログラム〕

社会奉仕委員長 坂之上 兼市さん

本日は社会奉仕委員会の担当例会とい
う事で、高山市社会福祉協議会 地
域福祉課 課長 小峠 賢次さんをお
招きして、高山市社会福祉協議会
はどのような活動を行っているのか
？又、地域福祉の現状はどのよう
になっているのか？等、色々とお話
をして頂きたいと思ひます。

それでは小峠様、よろしくお願いいた
します。

〔講演〕 高山市社会福祉協議会
地域福祉課 課長 小峠 賢次様



★社会福祉協議会とは民間団体であり、
高山市の行政組織ではない。市民と共
に福祉活動をサポートする団体＝社
会福祉協議会

- ・高山市＝私達の住む地域
- ・社会＝暮らし、生活
- ・福祉＝幸せ、満足
- ・協議＝一緒に、話し合う
- ・会＝集まり

福祉の「福」は『しあわせ』＝誰もが
満足できて楽しいこと

★「福祉は身近なもの」

私たちが住む地域のしあわせな暮らし
・生活を一緒に話し合う

社会福祉協議会の活動は、高齢化問題、
青少年問題と多岐に渡る活動を目指
している。

・高山市の高齢化率は24.9%で超
高齢化社会であり迅速

な対応が求められている。
・高山市でも子どもたちを取り巻く問
題は都会並みで、活動も多岐に渡る。
(不登校、いじめ、育児放棄、ETC)

- ★今こそ昔の地域力を見直す時＝地
域福祉政策
- ・小さな地域に施設を点在させる。
(グループホーム等)
- 在宅での生活が、地域でできるように

ボランティア、福祉団体に限らず、
地域の住民と共同して、「しあわせな
まちづくり」を展開していきたい

★具体的な取り組みとして「ふくし
体験出前講座」を展開し、『福祉』
がより身近なものであることを理
解していただきたい。

★高山中央ロータリークラブの皆様
にも、会社・企業の経営者として、
又、一人の住民として、御理解、ご
協力をお願いしたいと思います。

〔724回号に掲載出来なかったお祝
いです。〕

- 会員誕生日
岩垣 律 君さん S29年8月26日



- 夫人誕生日
谷口 敦也さん とも子さん 8月4日
近下 利一さん 智美さん 8月10日
針山 暁一朗さん けかりさん 8月25日
溝際 清嗣さん 恵美さん 8月25日
長瀬 栄二郎さん まり子さん 8月28日

(会報委員会 高野 清人)

〔ニコニコBOX〕

松之本会員、永家幹事様、1年間ご
苦労様です。今年度初めての出席
です。1年間よろしくお願ひいた
します。偶然ですが、小峠様のお
話が聞けます。楽しみにしてい
ます。 高山ロータリークラブ 早川 憲
治さん

本日は、小峠 賢次地域福祉課長様
にはご講演をよろしくお願いいた
します。又、高山クラブ早川様ご
来訪を歓迎申し上げます。 執行部
理事・役員一同

小峠様には本日のご講演、よろしく
お願ひ申し上げます。高山RC早川
様のご来訪、歓迎申し上げます。私
事ですが、ここ数回バタバタと高
山を出入りしなければならぬので、
出席が叶わない場合、お許し下さ
いませ。 講師 清野さん

社会福祉協議会小峠様、先日は酒
店街の事業に協力いただきありが
うございました。本日も卓話でお
世話をかけますがよろしくお願い
致します。 今井 俊彦さん

小峠 賢次様のご来訪を歓迎申し上
げます。いつも通り速者な存否、
期待しております。又、早川 憲
治様のご来訪を歓迎致します。 三
枝 健一さん

小峠様、本日は忙しい中、快く講
演を引き受けて頂きありがとうございます。
私達の知らない福祉の現状等
をお話しして頂けるようですね。
しっかりと耳を聞いて役に立
てたいと思ひます。本日はよろ
しくお願ひします。 坂之上 兼市
さん